

組織のブランドと信用を守る

Microsoft 365 Compliance

エディフィストラーニング株式会社

eDiscovery & Audit

5

本章で紹介する内容

1



Insider Risk Management

重要な内部リスクを特定し、
対策を講じます

2



Information Protection & Governance

データのライフサイクルを通じて
データを保護し、統治します

3



eDiscovery and Audit

関連データの迅速な調査と
対応を可能とします



Compliance Management | コンプライアンスの簡素化とリスクの低減

この機能を紹介します。



コアeDiscovery



Advanced eDiscovery



Advanced Audit



eDiscoveryとは

- 訴訟に関する資料を自らが収集し、開示する制度のことで、米国民事訴訟の手続きのひとつです。
- 米国民事訴訟手続きは、次のプロセスで行われます。



米国に拠点のある会社や米国企業と取引をする会社、ドル取引をする会社などが対象になるため、米国に拠点がなくても対象となります。



過去20年分もの情報開示を要求される場合もあります。

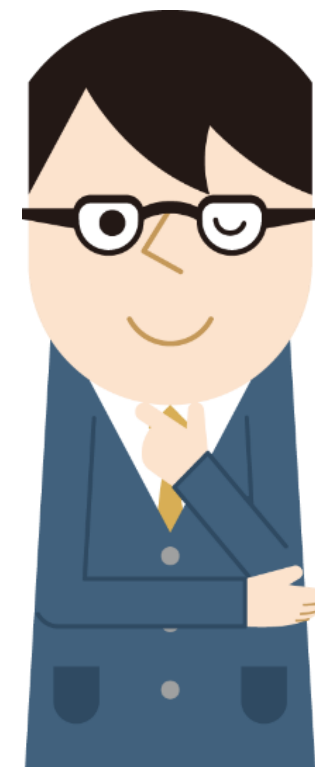
eDiscoveryの対象となるデータ

● eDiscoveryの対象となるのは、次のような形式のデータです。

- ✓ 電子メール
- ✓ ドキュメントファイル
- ✓ プレゼンテーションファイル
- ✓ スプレッドシート
- ✓ テキストファイル
- ✓ チャットメッセージ
- ✓ CADデータ
- ✓ 画像データ
- ✓ バックアップデータ
- ✓ 役職員のデバイス内のファイル
- ✓ 部署のファイルサーバー
- ✓ 外部記憶媒体に保存されたファイル
- ✓ クラウドサービスに保存されたファイル



日本国内のデータセンターや拠点内のデータも対象となります。

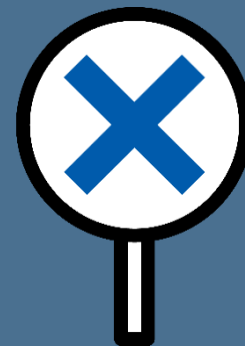


eDiscoveryの重要性

- eDiscoveryによって、証拠のほとんどが揃うため公判の結果を左右する非常に大事な手続きです。



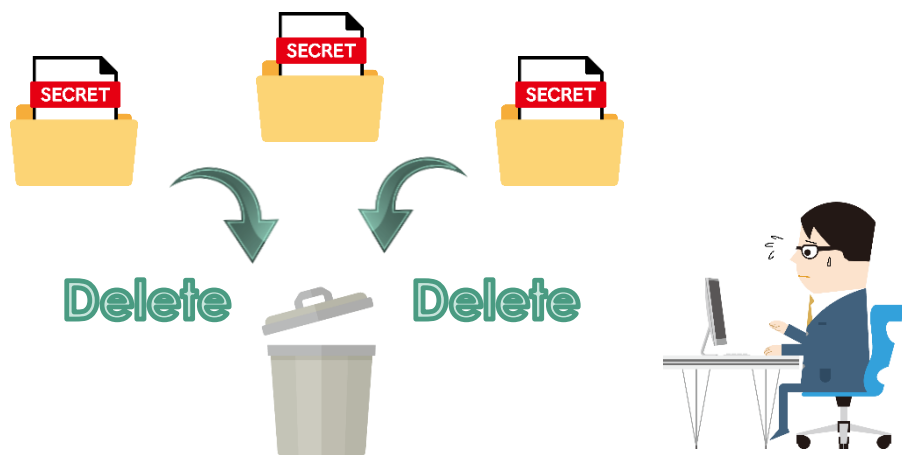
違反すると
厳しい罰則があります。



eDiscoveryの違反例

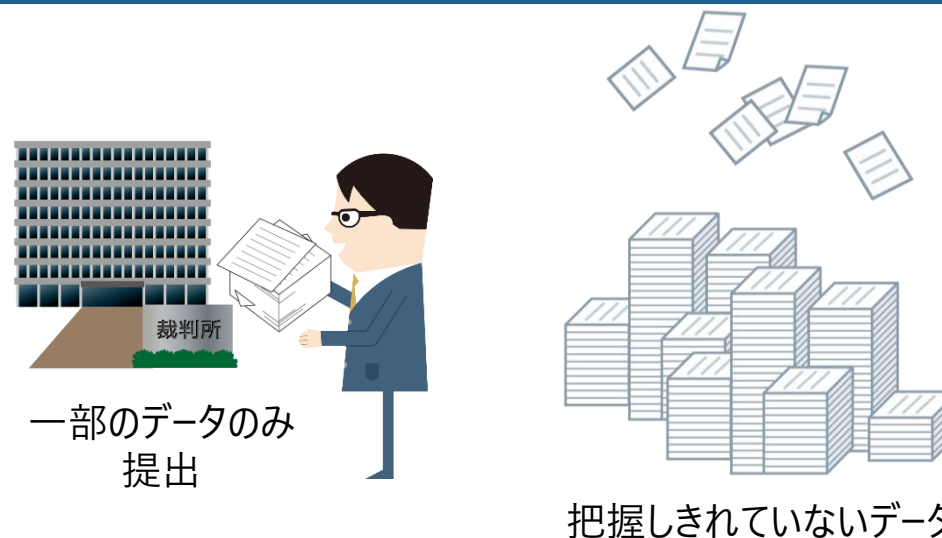
- 次のようなことは、違反とみなされます。

証拠保全義務が生じた後のデータ改変や削除



証拠保全義務が生じた後に、関連する電子メールを削除したりファイルを改変したりすると証拠隠滅とみなされ、多額の賠償金が課される場合があります。

一部のデータのみを提出

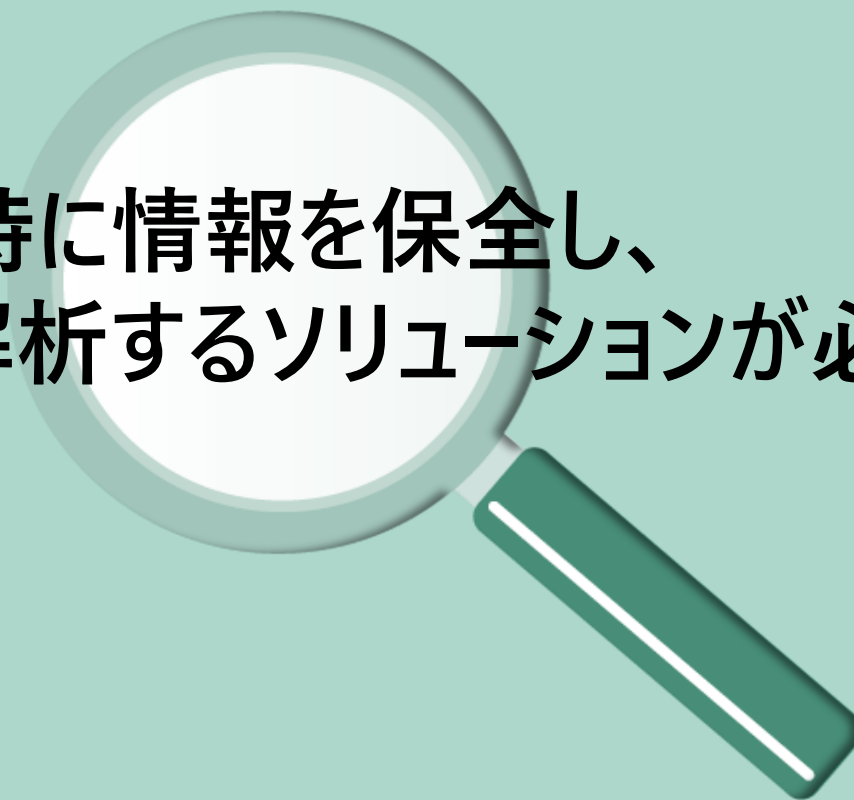


公判に有利/不利関係なく、関連する情報はすべて提出する必要がありますが、一部のデータのみを提出すると不利な情報を故意に隠匿したとみなされ、弁論時間を大幅に減らされるなど公判に不利な状況になります。

デジタルフォレンジックソリューションの必要性



必要な時に情報を保全し、
調査、解析するソリューションが必要です。



Microsoft 365のeDiscovery(電子情報開示)

Microsoft 365のeDiscoveryなら、
証拠の保全、検索、エクスポートが可能です！



eDiscovery



eDiscoveryの種類

● eDiscoveryには、次の2種類があります。

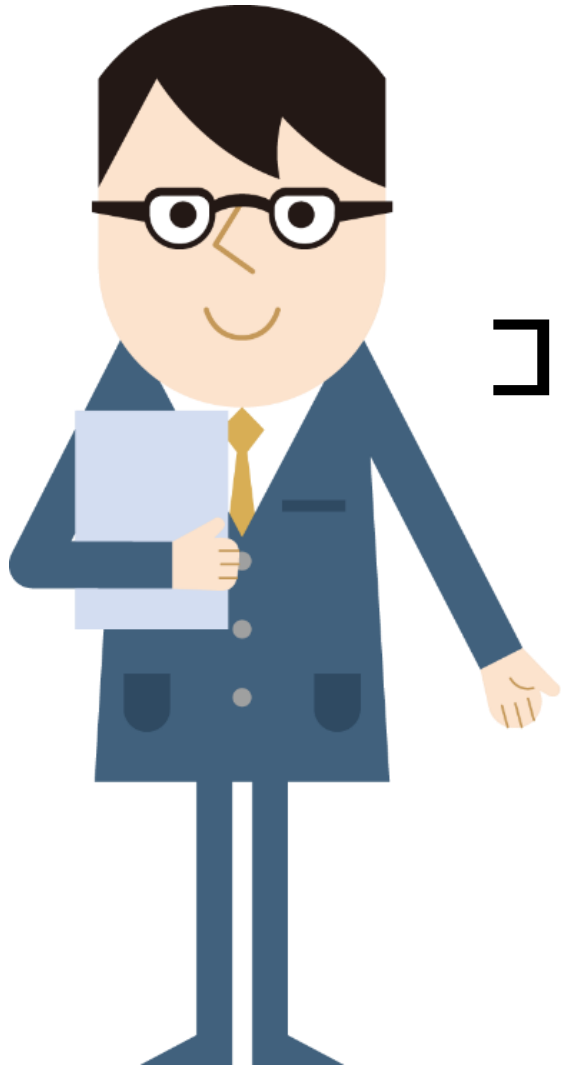
■ コア

- 基本的なeDiscoveryであるケースの作成、コンテンツのホールド、コンテンツの検索、エクスポートなどが含まれます。

■ Advanced

- コアの機能に加えて、レビューセットやケースデータの分析などを行うことができます。

最初に

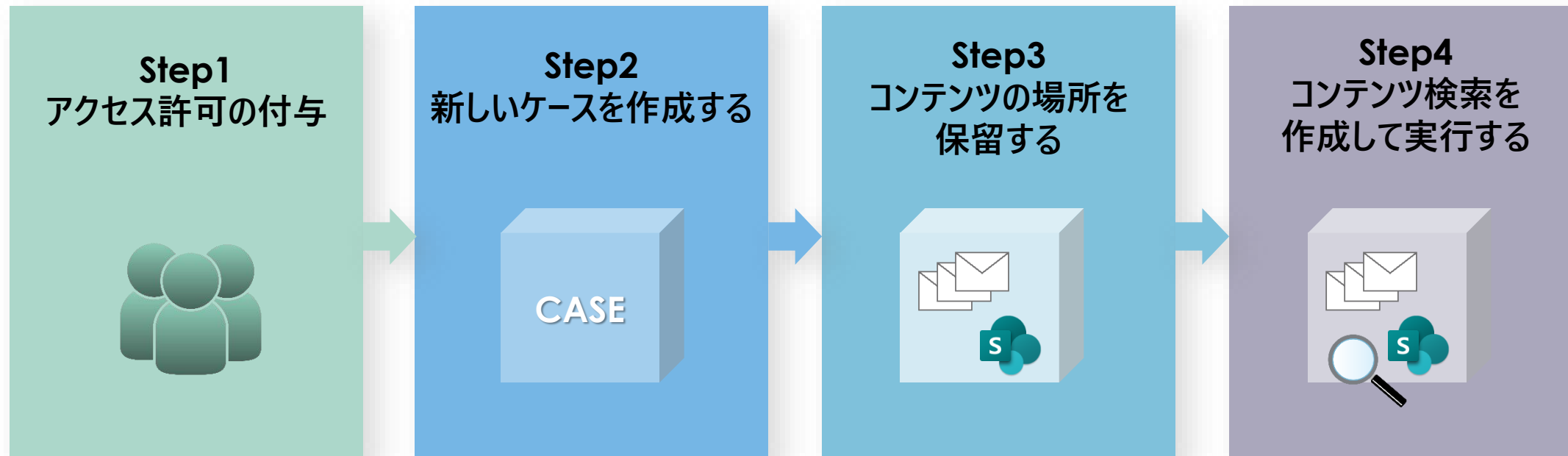


コアeDiscoveryから紹介します。

5-1 コアeDiscovery

コアeDiscoveryの構成プロセス

- コアeDiscoveryを使用すると、訴訟で証拠として使用する電子的情報を検索したり、保留したり
- することができます。コアeDiscoveryの構成手順は次の通りです。



参考：コアeDiscoveryを使用するために必要なライセンス

● コアeDiscoveryを使用するには、次のライセンスが必要です。

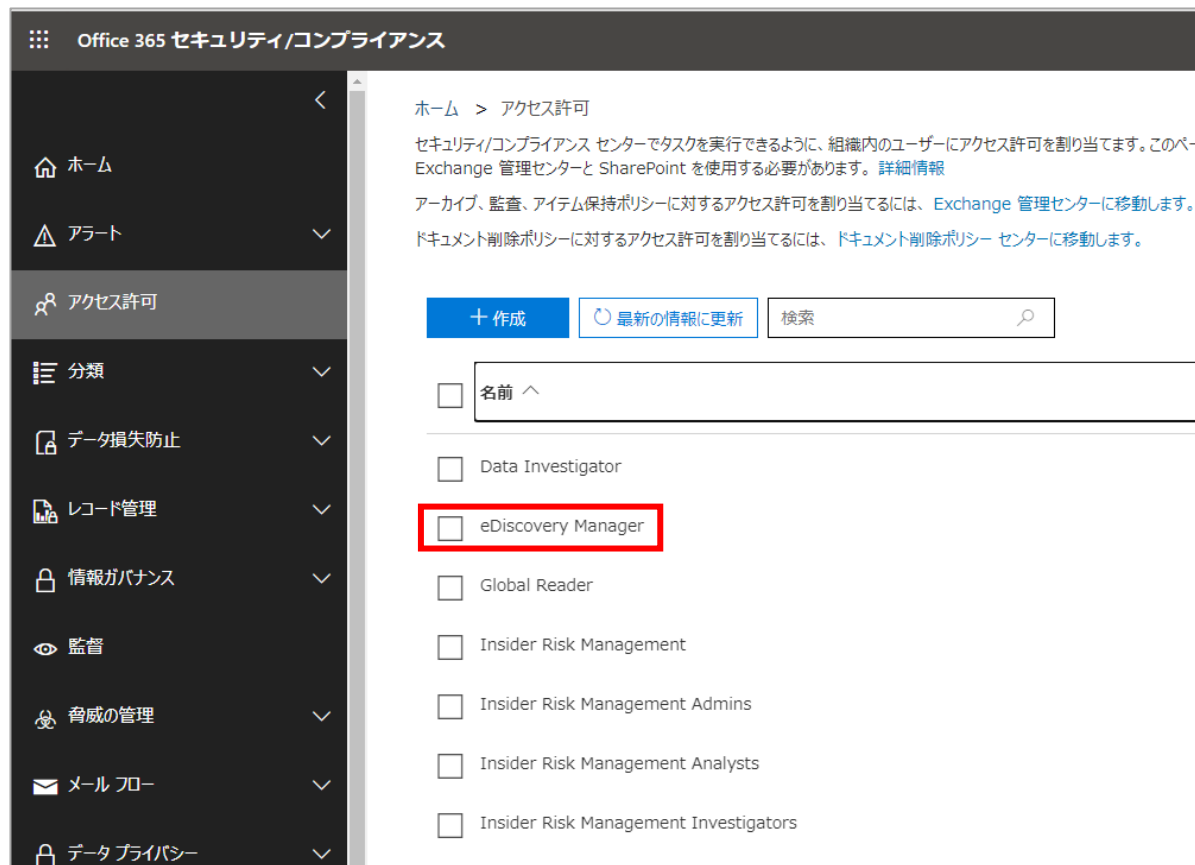
- ✓ Microsoft 365 E3
- ✓ Office 365 E3

参考：コア電子情報開示を開始する

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/compliance/get-started-core-ediscovery?view=o365-worldwide>

Step1：アクセス許可の付与

- Office 365セキュリティ&コンプライアンスセンターで適切な電子情報開示関連のアクセス許可をユーザーに割り当てます。



電子情報開示に関連するロール

- ✓ **レビュー担当者(Reviewer)**
Office 365セキュリティ&コンプライアンスセンターの電子情報開示ページで自分が所属しているケースのみ、ケースのリストを表示して開くことができます。また、Office 365 Advanced eDiscoveryでケースデータの表示とアクセスを行えます。
- ✓ **電子情報開示マネージャー(eDiscovery Manager)**
電子情報開示のケースを作成して管理できます。ユーザーは、メンバーを追加および削除したり、コンテンツの場所を保持状態に配置したり、ケースに関連付けられたコンテンツ検索を作成および編集したり、コンテンツ検索の結果をエクスポートしたり、高度な電子情報開示で分析のための検索結果を準備したりできます。

Step2：新しいケースを作成する

新しいケースを作成するには、次の手順を実行します。



[Microsoft 365コンプライアンスセンター]で、[電子情報開示]-[コア]をクリックし、[ケースを作成]を選択します。

The '新しいケース' (New Case) dialog box is shown. It has a title bar with a close button. The main text says '名前と説明を入力します' (Enter name and description) and 'このケースにわかりやすい名前を付けると、後でまた簡単に検索することができます。' (Assigning a clear name to this case makes it easier to search for later). There are two input fields: '*ケース名' (Case Name) and 'ケースの説明' (Case Description). The '*ケース名' field is highlighted with a red box and contains the text '株式会社〇〇関連データ'. Below the input fields are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). The '保存' button is highlighted with a red box.

ケース名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

Step3：コンテンツの場所を保留する -1

● ● ● コンテンツの場所を保留するには、次の手順を実行します。



コア電子情報開示

電子情報開示ケースを作成し、そのケースにだれがアクセスできるかを指定したら、そのケースを使用して組織内のことができます。 [詳細情報](#)

+ ケースを作成 ↓ エクスポート ↺ 更新 **📄 ケースを開く** 📁 共有

適用済みフィルター:

名前

○×商事訴訟用

Teams Contents

TEST 年代

☒ **株式会社〇〇関連データ**

開発コード

ケースのチェックボックスをオンにし、[ケースを開く]をクリックします。



Microsoft 365 コンプライアンス

株式会社〇〇関連データ > コア ED > 保留リスト

ホーム **保留リスト** 検索 エクスポート [Advanced eDiscovery に切り替え](#)

変化にお気付きですか？ 電子情報開示の環境が新たに改善されました。 [電子情報開示に関する詳細情報](#)。 切り替え: [保留リストの](#)

+ 作成 ↺ 最新の情報に更新 検索

名前

ケースが開いたことを確認し、[保留リスト]タブを選択します。
[作成]ボタンをクリックします。

Step3：コンテンツの場所を保留する -2

新しい保留リストの作成

● 保留リストの名前を設定

● 場所の選択

● クエリの作成

● 設定を確認

保留リストの名前を設定

名前 *

SharePointドキュメント保留

説明

ポリシーのわかりやすい説明を入力してください

次へ キャンセル



新しい保留リストの作成

● 保留リストの名前を設定

● 場所の選択

● クエリの作成

● 設定を確認

場所の選択

場所	含む
Exchange メール	なし
Office 365 グループのメール	ユーザー、グループ、またはチームを選択
Skype for Business	
Teams のメッセージ	
To-Do	
Yammer の会話 (ベータ) △	
SharePoint サイト	1 件のサイト サイトを選択
OneDrive アップロード	
Office 365 グループのサイト	
Teams のサイト	
Yammer ネットワーク (ベータ) △	

保留リストの名前を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

保留したい場所を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

Step3：コンテンツの場所を保留する -3

新しい保留リストの作成

- ✓ 保留リストの名前を設定
- ✓ 場所の選択
- クエリの作成
- 設定を確認

クエリの条件

へ * キーワード

契約書

+ 条件の追加

戻る 次へ キャンセル

クエリ条件やその他の抽出条件を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。



新しい保留リストの作成

- ✓ 保留リストの名前を設定
- ✓ 場所の選択
- ✓ クエリの作成
- 設定を確認

設定を確認

ポリシー名 [編集](#)
SharePointドキュメント保留

説明 [編集](#)

次の場所のコンテンツに適用 [編集](#)
SharePoint サイト

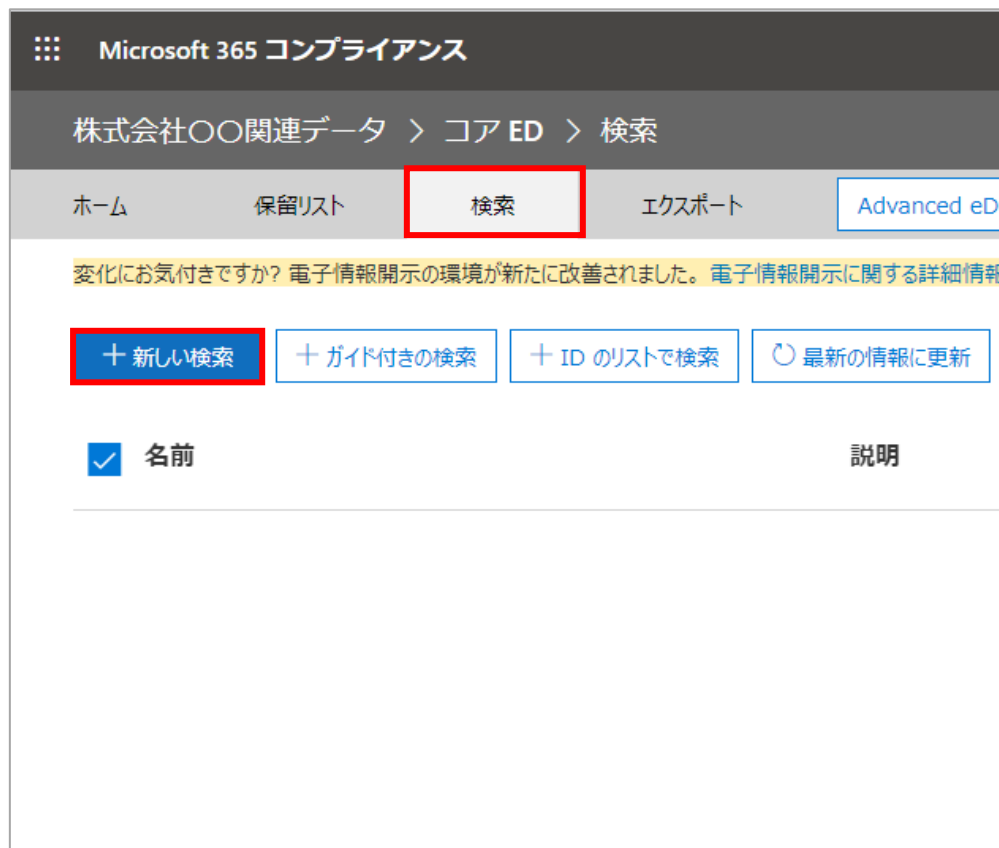
クエリの条件 [編集](#)
キーワード 契約書

戻る この保留リストを作成 キャンセル

設定内容を確認し、[この保留リストを作成]ボタンをクリックします。

Step4：コンテンツの検索を作成して実行する -1

- 保留したコンテンツを検索するには、次の操作を実行します。



[検索]タブを表示し、[新しい検索]ボタンをクリックします。



検索キーワードや検索条件、検索する場所を指定して、[保存して実行]ボタンをクリックします。

Step4：コンテンツの検索を作成して実行する -2

検索の保存

名前 *

契約書の検索

説明

検索の説明を入力してください

保存 キャンセル



株式会社〇〇関連データ > コア ED > 検索: 契約書データの検索

ホーム 保留リスト 検索 エクスポート [Advanced eDiscovery に切り替え](#)

保存した検索に戻る

+ 新しい検索 | 保存 | 開く... Advanced eDiscovery に対する準備 その他 ▾ 並び替え: 日付 ↓

キーワード

契約書

☐ キーワード一覧を表示 ⓘ

+ 条件の追加

インデックス作成済みの結果の推定総数 5 件中 1-5 件を表示中 (231.21 KB) ⓘ

Koshin製本サービス様契約書

日付: 2019-10-12 12:20:00 | 送信者/作成者: 西嶋 恭介; 甲田 章子
種類: docx

Koshin製本サービス様契約書_F12ADD4B-7F81-47B7-8A04-53...

日付: 2019-10-12 12:20:00 | 送信者/作成者: 西嶋 恭介; 甲田 章子
種類: docx

南部ホテルズサービス様契約書

日付: 2019-08-05 15:25:00 | 送信者/作成者: 奥園 利美
種類: docx

Myプリントサービス様契約書_D6D5294A-172C-47FA-B888-268...

日付: 2019-08-05 13:48:00 | 送信者/作成者: 西嶋 恭介; SharePoint A...
種類: docx

AVSコンテンツサービス様契約書_B68CDBC7-99B6-4327-A532-5...

日付: 2019-08-05 11:22:10 | 送信者/作成者: 西嶋 恭介

作成者 奥園 利美
[オリジナルのアイテムをダウンロード](#)

南部ホテルズサービス様契約書

Internal use only

Internal use only

Internal use only

場所: 保留になっている場所

☐ すべての場所 ⓘ

☒ 保留になっている場所 ⓘ

☐ 特定の場所 変更...

• Yammer コンテンツを eDiscovery で検出するには、すべての Yammer ネットワークが **ネイティブモード** である必要があります。

状態: 完了済み

検索名を指定し、[保存]ボタンをクリックします。

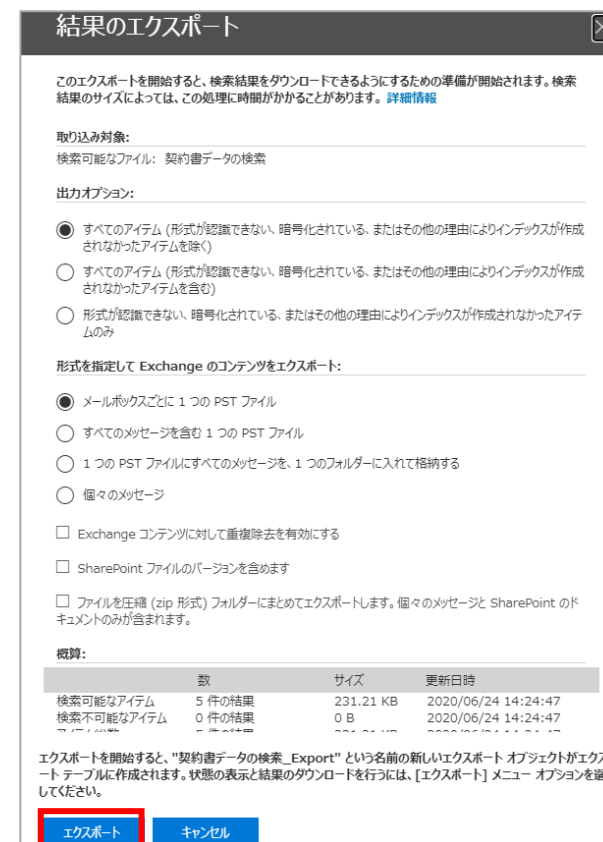
検索結果が表示されたことを確認します。

検索結果をエクスポート -1

検索結果はエクスポートすることができます。

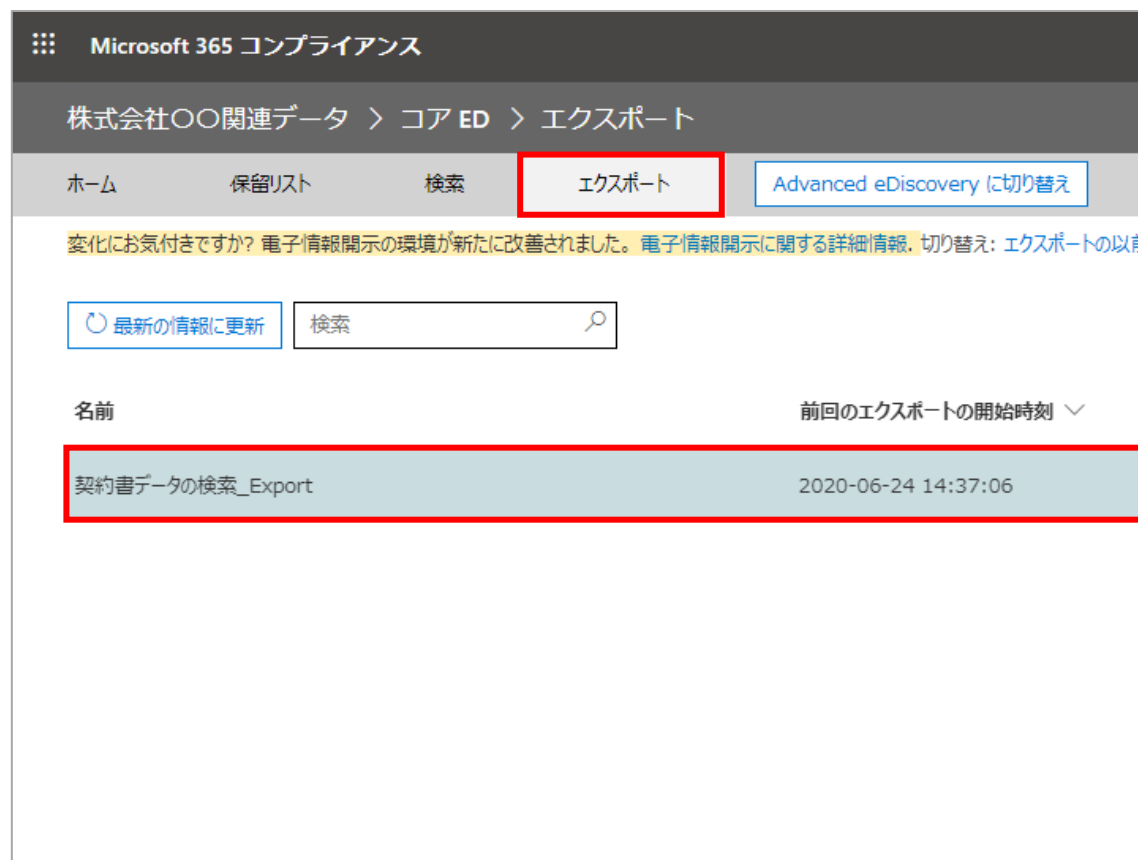


[検索]タブで、[その他]-[結果のエクスポート]をクリックします。

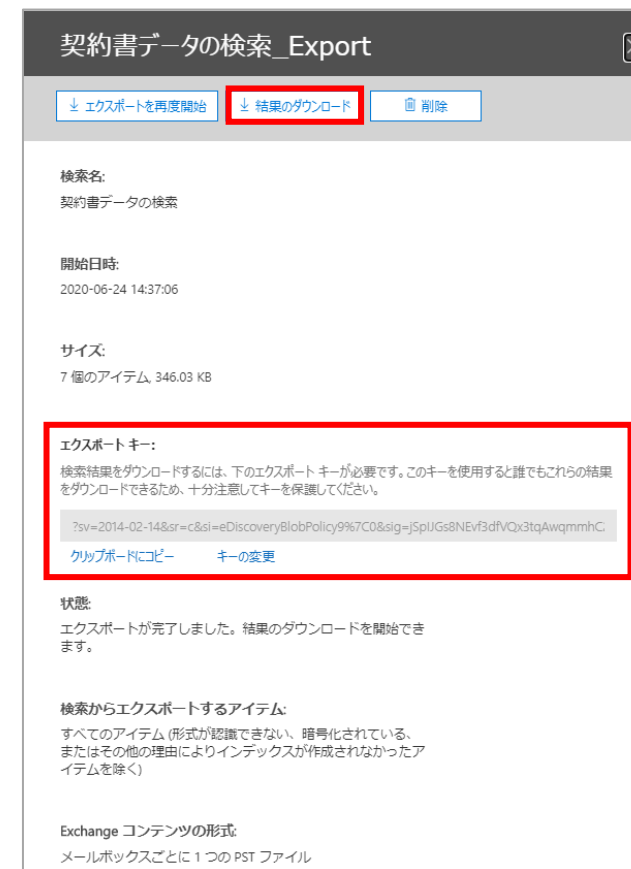


[結果のエクスポート]ページで、出力形式などを指定して、[エクスポート]ボタンをクリックします。

検索結果をエクスポート -2



[エクスポート]タブをクリックし、作成されたアイテムをクリックします。

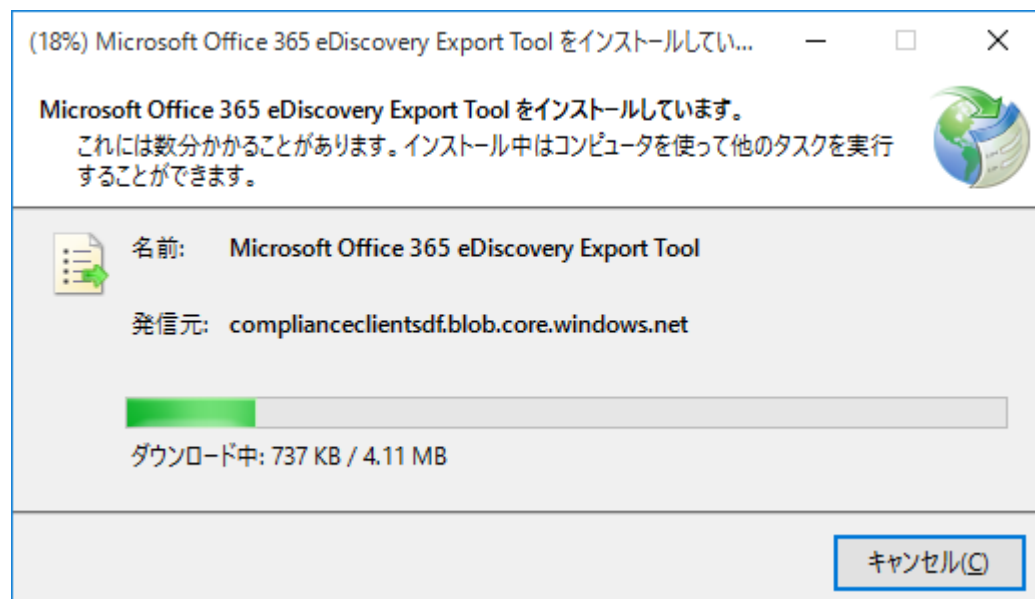


エクスポートキーをクリップボードにコピーし、[結果のダウンロード]ボタンをクリックします。

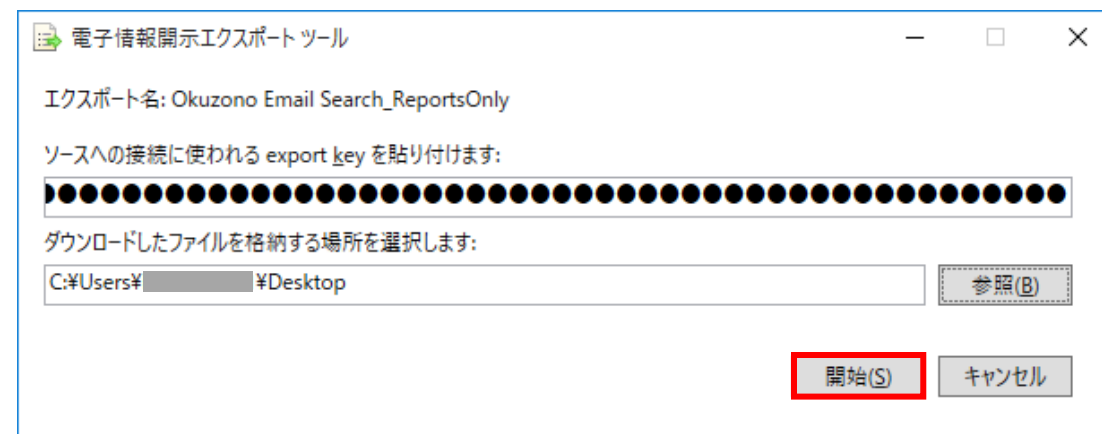


エクスポートキーはレポートをダウンロードする際に必要です。

検索結果をエクスポート -3



初めてのダウンロードの場合、自動的に[Microsoft Office 365 eDiscovery Export Tool]がダウンロードされ、インストールされます。

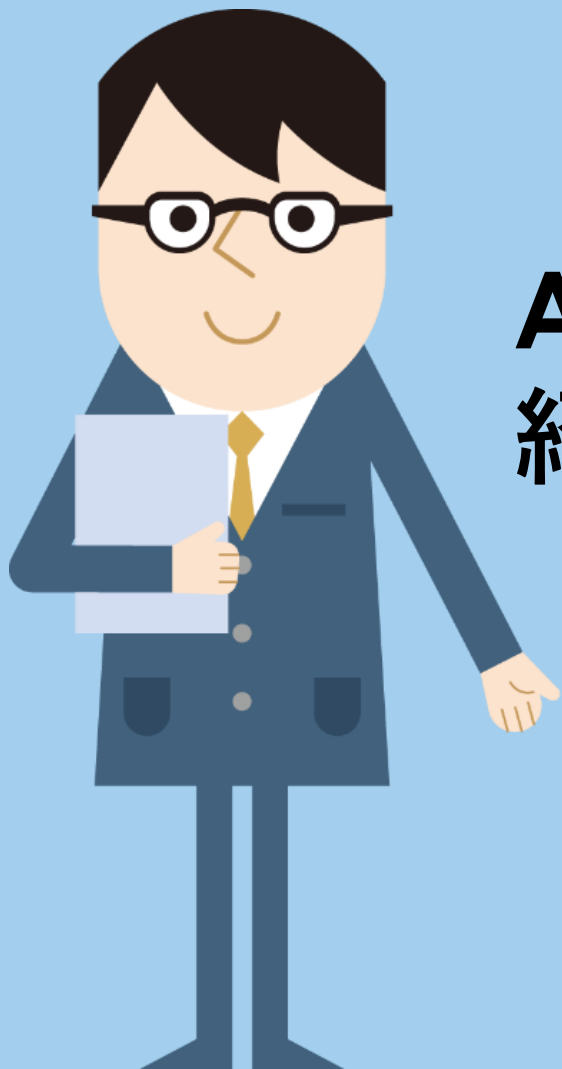


エクスポートキーを貼り付け、レポートの保存先を指定して、[開始]ボタンをクリックします。



この作業は、Microsoft Edgeもしくは、Internet Explorerを使用して行います。

基本的なeDiscoveryの次は



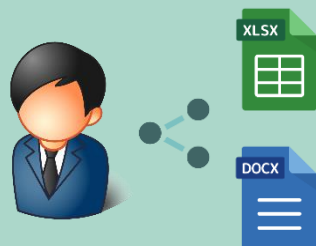
**Advanced eDiscoveryを
紹介します。**

5-2 Advanced eDiscovery

Advanced eDiscoveryの特徴

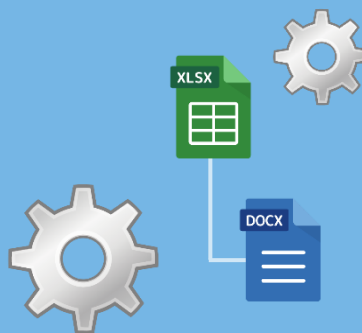
- 非構造化データのスマートな探索と分析により、関連データを迅速に特定します。

関連ドキュメントの特定と削減



一定量のMLへのインプットで関連するドキュメントと関連しないドキュメントを自動的に識別します。

データの関連性の特定



クラスタリング技術でコンテキスト内のドキュメントを確認し、関係性を把握します。

レビュー前にデータを編成、削減



準重複検出によってデータを編成し、非構造化データからメールスレッドを再構築、レビュー用に送信されるデータ量を削減します。
eDiscovery対応時等に弁護士費用を大幅削減できます。

参考：Microsoft 365の高度な電子情報開示ソリューションの概要

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/compliance/overview-ediscovery-20>

Advanced eDiscoveryの設定

- Advanced eDiscoveryでは、コアeDiscoveryよりも詳細な設定を行うことができます。

Microsoft 365 コンプライアンス

機密情報 > ホーム
機密情報
← 戻る

ホーム カストディアン 通信 保留リスト 処理中 検索 レビュー セット エクスポート ジョブ **設定**

各タブで詳細な設定を行えます。

カストディアン

3 カストディアンの総数

3 of 3 保留中のカストディアンの総数

伝達情報

3 送信された通知 1/3 確認済み

0 送信されたリマインダー 0 送信されたエスカレーション

最近のジョブの状態

ジョブ名	状態
Export (Successful)	成功
Export (Successful)	成功
SearchAnalysis (PartiallySuccessful)	部分的に成功
Index (Successful)	成功

エラー

レビュー セット: パスポート番号

0 パスワードで保護されたファイル

0 不明なファイルの種類

各タブの内容 -1

- [カストディアン]タブ
関係者となるユーザーを追加します。
- [通信]タブ
カストディアンに対して通知を送信することができます。
- [保留リスト]タブ
保留したいコンテンツやサービスを指定します。
- [処理中]タブ
インデックスの作成結果などを確認できます。
- [検索]タブ
保留したコンテンツの検索を行うことができます。
サービスごとに何件の一致があったかを確認できます。

The screenshot shows the 'Microsoft 365 コンプライアンス' (Microsoft 365 Compliance) interface. The breadcrumb path is '機密情報 > カストディアン' (Sensitive Information > Custodian). The main heading is '機密情報' (Sensitive Information). Below it is a '戻る' (Back) link. A navigation bar includes 'ホーム' (Home), 'カストディアン' (Custodian - active), '通信' (Communication), '保留リスト' (Retention List), '処理中' (In Progress), '検索' (Search), 'レビュー' (Review), and 'セッティング' (Settings). The main content area states: 'カストディアンに関連付けられたデータ ソースをすばやく識別して保持できるように、ユーザーをカストディアンに追加します。' (Add users to the custodian to quickly identify and retain data sources associated with the custodian). Below this are two buttons: '+ カストディアンを追加' (Add Custodian) and '最新の情報に更新' (Refresh). A table lists users with checkboxes in the first column and their names and email addresses in the second column.

<input type="checkbox"/>	名前	メール
<input type="checkbox"/>	飯室 美紀	iimuro@ContosoK01.work
<input type="checkbox"/>	甲田 章子	Koda@ContosoK01.work
<input type="checkbox"/>	奥菌 利美	Okuzono@ContosoK01.work

各タブの内容 -2

- [レビューセット]タブ
条件に該当するデータを表示したり、分析を行ったりすることができます。
- [エクスポート]タブ
作成したレビューセットの結果をもとにAzureにエクスポートします。
- [ジョブ]タブ
分析や検索、レビューセットへのデータ追加など実行中のジョブが一覧で表示されます。
- [設定]タブ
ケース情報の設定やケースにアクセスできるユーザーの追加などケースに関する設定を行います。

Microsoft 365 コンプライアンス

機密情報 > レビュー セット

パスポート番号

← レビュー セット

このレビュー セットで 処理中 ジョブが進行中です。そのため、検索と分析の結果に影響する場合があります。

+ 新しいクエリ → 操作 ▾ ⚙️ レビュー セットの管理 📄 すべてのドキュメントを表示 ▾ 🗒️ 列の編集

>	件名/タイトル	状態	日付	送信者/作成者
📄	営業部パスポート番号.pptx	○ 準備完了	2020/6/19 16:56:08	甲田 章子
📄	営業部パスポート番号.pptx	○ 準備完了	2020/6/19 16:56:08	甲田 章子
📄	海外出張関連.xlsx	○ 準備完了	2020/6/19 17:00:07	甲田 章子
○	海外出張関連.xlsx	○ 準備完了	2020/6/19 17:00:07	甲田 章子
📄	総務部申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/19 17:04:00	
📄	PowerPoint プレゼンテーション	○ 準備完了	2020/2/1 18:47:12	Akiko Koda
📄	営業部パスポート番号.pptx	○ 準備完了	2020/6/19 16:56:08	甲田 章子
📧	Rule detected - 少量のコンテンツが検出された 日...	○ 準備完了	2020/6/21 21:27:35	Microsoft Outlook <postmaster@ContosoK0>
📄	申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/16 11:48:00	甲田 章子
📄	海外出張関連.xlsx	○ 準備完了	2020/6/19 17:00:07	甲田 章子
📄	申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/16 11:48:00	甲田 章子
📧	Rule detected - 少量のコンテンツが検出された 日...	○ 準備完了	2020/6/22 17:26:54	Microsoft Outlook <postmaster@ContosoK0>
📄	総務部申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/19 17:04:00	

レビューセット

- レビューセットでは、レビュー対象となったコンテンツの分析レポートを作成することができます。



最後に



Advanced Auditを紹介します。

5-3 Advanced Audit

Advanced Auditの特徴

- Microsoft 365のさまざまなサービスのさまざまな種類の監査済みアクティビティを可視化できます。
- 迅速かつ効果的なフォレンジックおよびコンプライアンス調査を強化することができます。

監査ログの長期保管

1 Year



Exchange、SharePoint、および Azure Active Directoryの監査レコードが1年間保持されます。

データアクセスの高速化



すべての組織には、最初に1分あたり2,000件の要求のベースラインが割り当てられます。この制限は、組織のシート数とライセンスサブスクリプションに応じて動的に増加します。E5組織は、E5以外の組織の約2倍の帯域幅を利用できます。

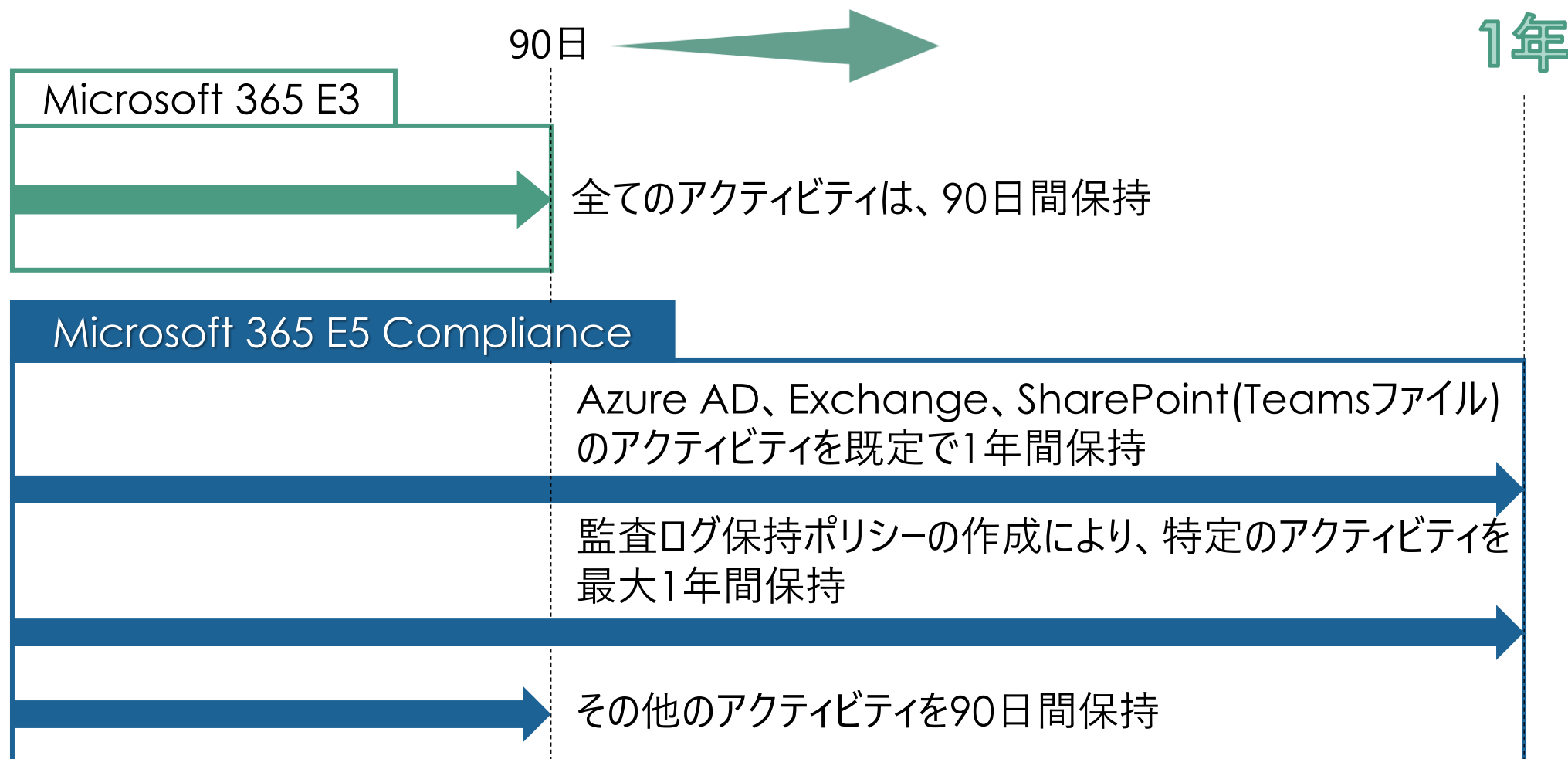
重要なイベントの監査



メールボックスアイテムへのアクセス監査アクションを新たにサポートしました。このアクションは、メールプロトコルとメールクライアントがメールデータにアクセスしたときにトリガーされます。

Microsoft 365のアクティビティログを最大1年間保持

- 保持要件に対して柔軟に保持期間を個別設定できます。



Advanced Auditの構成

Advanced Auditは、次の手順で構成します。

Microsoft 365 コンプライアンス

レポート
ポリシー
アクセス許可
ソリューション
カタログ
監査
コンテンツの検索
コミュニケーション コンプライアンス
データ損失防止
データ主体の要求
電子情報開示
情報ガバナンス
情報の保護
内部リスクの管理
レコード管理

監査

ユーザーがドキュメントを削除したかどうかや、管理者がユーザーのパスワードをリセットしたかどうかリサービスなどに関連するアクティビティを検索できます。 [監査ログの検索に関する詳細情報](#)

新しい監査保持ポリシー

検索

アクティビティ
すべてのアクティビティの結果を表示
[すべてのアクティビティを表示](#)

ユーザー
検索

開始日
Wed Jun 17 2020

開始時間
00:00

終了日
Thu Jun 25 2020

終了時間
00:00

検索 **すべてクリア**

↓ エクスポート

適用済みフィルター:

日付 IP アドレス

[Microsoft 365コンプライアンスセンター]で、[監査]を選択し、[新しい監査保持ポリシー]をクリックします。

アイテム保持ポリシーの作成

名前 *

監査用アイテム保持ポリシー

説明

ユーザー

甲田 章子 × 飯室 美紀 × 検索

レコードの種類

AeD, AzureActiveDirectory, CustomerKeyServiceEncryption, DataGovernance, Discover...

期間 *

☐ 90 Days
☐ 6 Months
☒ 1 Year

優先度 *

10

Save **Cancel**

監査の対象となるユーザーや監査ログの保持期間、優先度などを指定して保存します。

監査ログの検索

- [Microsoft 365コンプライアンスセンター]の[監査]から条件を指定して検索を行います。

Microsoft 365 コンプライアンス

レポート
ポリシー
アクセス許可
ソリューション
カタログ
監査
コンテンツの検索
コミュニケーション コンプライアンス
データ損失防止
データ主体の要求
電子情報開示
情報ガバナンス
情報の保護
内部リスクの管理
レコード管理
その他のリソース

監査

ユーザーがドキュメントを削除したかどうかや、管理者がユーザーのパスワードをリセットしたかどうかの確認が必要な場合があります。Office 365 の監査ログを検索すると、組織内のユーザーと管理者が何を行ったかを確認できます。メール、グループ、ドキュメント、アクセス許可、ディレクトリ サービスなどに関連するアクティビティを検索できます。 [監査ログの検索に関する詳細情報](#)

新しい監査保持ポリシー

ナビゲーションから削除

検索

アクティビティ
メールボックスへのユーザーのサインイン、メールボックス アイテムへのアクセス

ユーザー
甲田 章子

ファイル、フォルダー、またはサイト
ファイル名、フォルダー名、URL のすべてまたは一部を追加

すべてのアクティビティを表示

開始日
Fri May 01 2020

開始時間
00:00

終了日
Thu Jun 25 2020

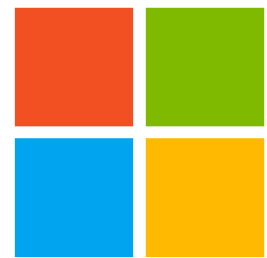
終了時間
00:00

検索
すべてクリア

↓ エクスポート
150 個のアイテム

適用済みフィルター:

日付	IP アドレス	ユーザー	アクティビティ	アイテム	詳細
2020年6月24日 15:43	[124.33.230.34]:9623	Koda@ContosoK01.work	メールボックス アイテムへのアクセス		AuditSearchResultDetail_MailItemsAcc...
2020年6月24日 15:22	124.33.230.34	Koda@ContosoK01.work	メールボックス アイテムへのアクセス		AuditSearchResultDetail_MailItemsAcc...



Microsoft

まとめ

6

改めて「コンプライアンス」とは？

Compliance

→ 企業や組織が法令や規則を守ること。

法律や条例

個人情報保護法

企業倫理

近年ではコンプライアンスの範囲が
拡大しています。

社内規定

労働基準法

守るべきものがたくさんあります。

不適切なSNSの利用

社会的責任
の履行

インサイダー取引

社会的規範

品質データの偽装

社会的倫理

ハラスメント

不正競争防止法



なぜコンプライアンスが重要視されるのか

情報の価値に対する認識の変化

組織の機密情報には金銭的価値がある

✓ 退職予定の従業員が機密情報を持ち出し 

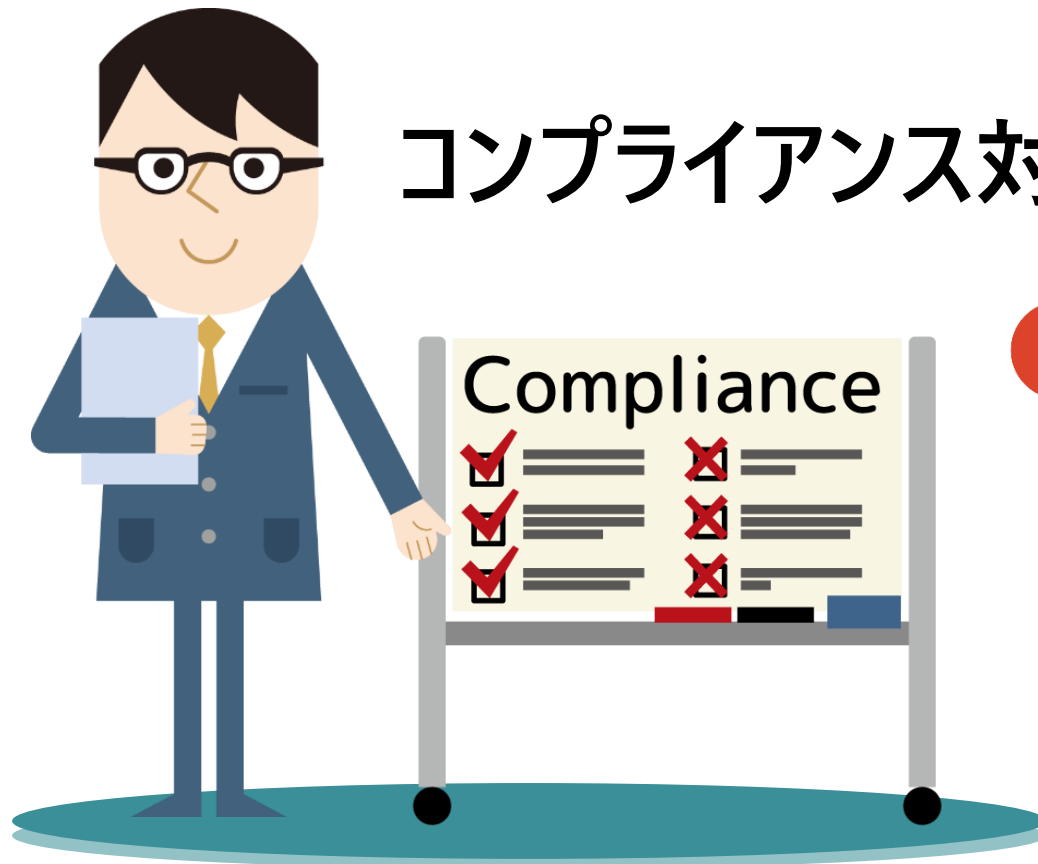
SNSが身近なものに 

✓ 従業員による機密情報や個人情報の投稿 

 **コンプライアンス違反が発生**

マスコミによる報道・インターネットへの公開・世間の批判
「もみ消す」ことは不可能

だからこそ



コンプライアンス対策は



最重要課題です！

Microsoft 365のコンプライアンス機能とライセンス体系

Microsoft 365のコンプライアンス機能とライセンス体系は次の通りです。

Power BI Pro

Audio Conferencing

Phone System

M365 E5 Security



M365 E5 Complianceを利用するには、Office 365 E3とEMS E3が必要です。

Insider Risk Management

eDiscovery & Audit

Information Protection & Governance

Microsoft 365 E5 Compliance



前提要件

Office 365 E3



EMS E3

Microsoft 365のコンプライアンス機能

以下のサービスは、個別に購入することも可能です。

Microsoft 365 E5 Compliance

Insider Risk Management

- ✓ **Insider Risk Management**
内部不正検知ソリューション
- ✓ **Communication Compliance**
ハラスメントが含まれるメール、Teamsメッセージなどを検知
- ✓ Information Barriers
- ✓ カスタマーロックボックス
- ✓ 特権アクセス管理

任意のM365またはOffice 365が必要

Information Protection & Governance

- ✓ **Information Protection & Governance**
 - **Records Management**
組織の保持スケジュールをファイル計画に反映させ、保持、レコード宣言、廃棄を管理
 - **Rules-based automatic**
自動情報ラベリングAIP P2
 - **Machine Learning-based automatic classification and retention**
マシン ラーニングで類似するドキュメントをマッチング
- ✓ **Microsoft Cloud App Security**
クラウド上での情報の共有ガバナンス
- ✓ **Communication DLP**
Teams上での機密情報のやり取りの制御
- ✓ カスタマーキー
- ✓ Advanced Message Encryption

AIP P1
任意のM365またはOffice 365が必要

M365 E5 eDiscovery & Audit

- ✓ Advanced Audit
- ✓ Advanced eDiscovery

任意のM365またはOffice 365が必要

Microsoft 365 E5 Complianceが提供する対策は

3つです！



Microsoft 365のコンプライアンスおよび リスクマネジメントソリューション

1



Insider Risk Management

重要な内部リスクを特定し、
対策を講じます

2



Information Protection & Governance

データのライフサイクルを通じて
データを保護し、統治します

3



eDiscovery and Audit

関連データの迅速な調査と
対応を可能とします



Compliance Management | コンプライアンスの簡素化とリスクの低減

3つの機能を管理するツール

Microsoft 365 Complianceセンター

<http://compliance.microsoft.com>

The screenshot displays the Microsoft 365 Compliance Center interface. The left sidebar contains navigation links: ホーム, コンプライアンス スコア, データの分類, データ コネクタ, アラート, レポート, ポリシー, アクセス許可, ソリューション, カタログ, その他のリソース, ナビゲーションのカスタマイズ, and すべてを表示. The main content area is divided into several sections:

- Microsoft コンプライアンス スコア**: Shows a compliance score of 75%. Below this, a table lists various categories and their scores:

Category	Score
情報の保護	0 / 427
情報の管理	0 / 119
アクセスの制御	0 / 498
デバイスの管理	0 / 729
脅威からの保護	0 / 381
検出と返信	0 / 247
内部リスクの管理	0 / 56
- ソリューション カタログ**: Titled "コンプライアンスのニーズに対応するソリューションを見つける". It provides information on finding solutions for compliance needs.
- クラウド アプリのコンプライアンス**: Titled "クラウド アプリのコン...". It lists various compliance standards: GDPR, HIPAA, ISO-27001, SOC1, and FINRA. A legend indicates "非準拠のアプリ" (Non-compliant app) in orange and "非準拠のアプリ" (Compliant app) in green.
- 最も多くファイルを共有しているユーザー**: A table showing the top users for file sharing:

ユーザー	共有されている...
nishijima@contosok01.work	23
koda@contosok01.work	9
okuzono@contosok01.work	7
iimuro@contosok01.work	6
koda.akiko@edifist.co.jp	1

At the bottom, there are additional sections: 保持ラベルの使用状況, 高リスクのアプリ, サードパーティの DLP ポリシーとの..., and 共有ファイル.

Microsoft 365のインサイダーリスク対策

- Insider Risk Management

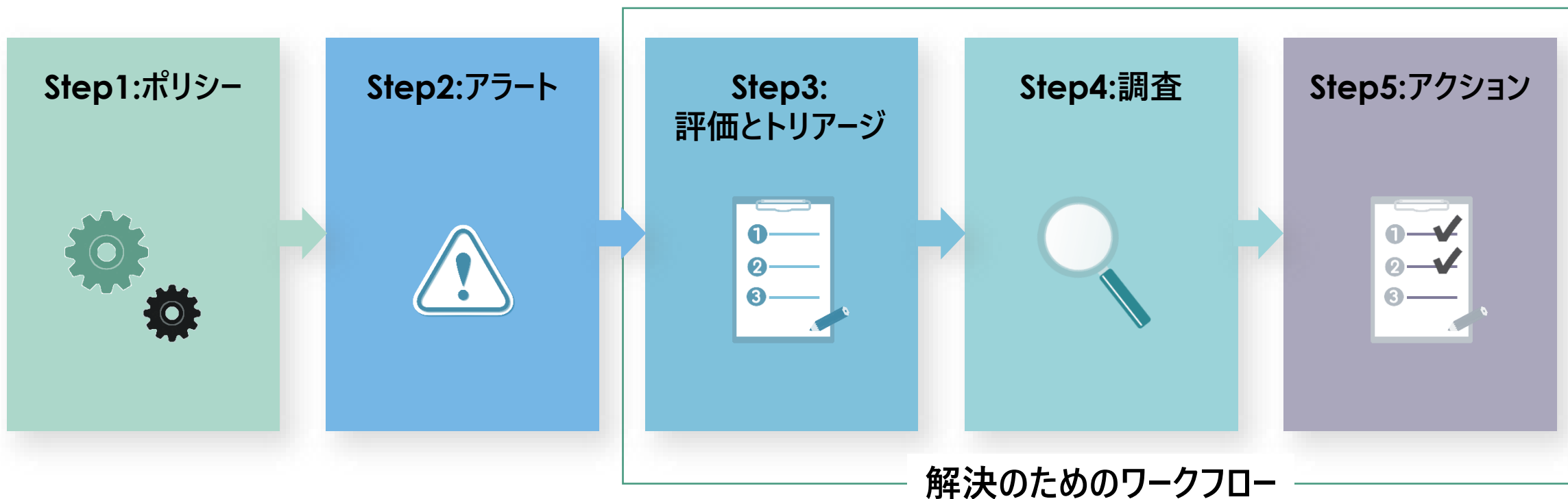
- Communication Compliance

2つのソリューションが
あります！



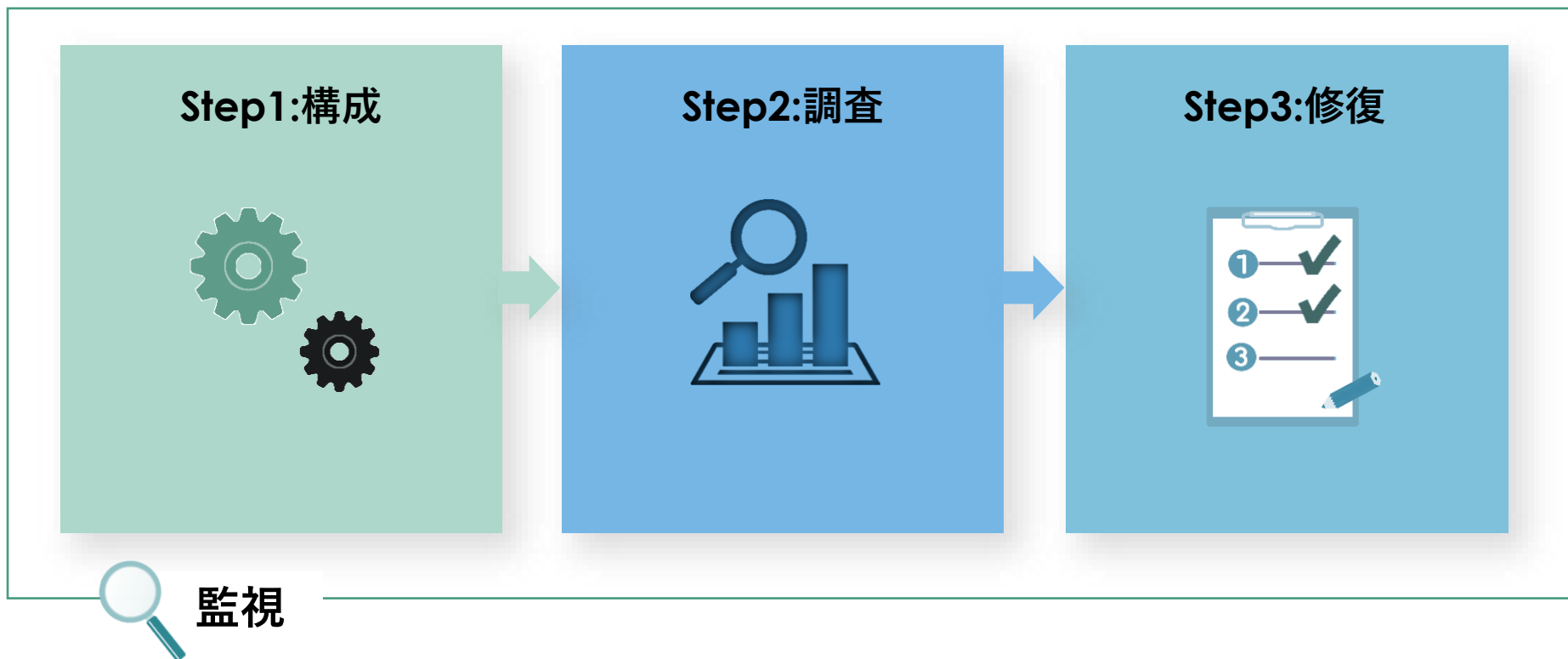
Insider Risk Managementのワークフロー

- Insider Risk Managementでは、組織内部のリスクに対処するために次のワークフローを使用します。



Communication Complianceのワークフロー

- Communication Complianceでは、コミュニケーションリスクに対処するために次のワークフローを使用します。



Information Protection & Governance(情報保護とガバナンス)



Information Protection & Governance

データの格納場所と移動先で、データを分類し、保護、保持します。

データを知る

保有するデータの状況を理解し、重要な情報をハイブリッド環境全体で特定します。

データのガバナンスを実施する

コンテンツのライフサイクルを、Microsoft 365の機能を使用して管理します。

ビジネスに不可欠なデータをインポートして保存し分類します。必要なものを残し、そうでないものを削除します。

データを保護する

機密データを、そのライフサイクル全体にわたって保護するために機密度ラベルを使用します。このラベルは暗号化、アクセス制限、視覚的なマーキングなどの保護アクションにリンクされます。

eDiscoveryとは

- 訴訟に関する資料を自らが収集し、開示する制度のことで、米国民事訴訟の手続きのひとつです。
- 米国民事訴訟手続きは、次のプロセスで行われます。



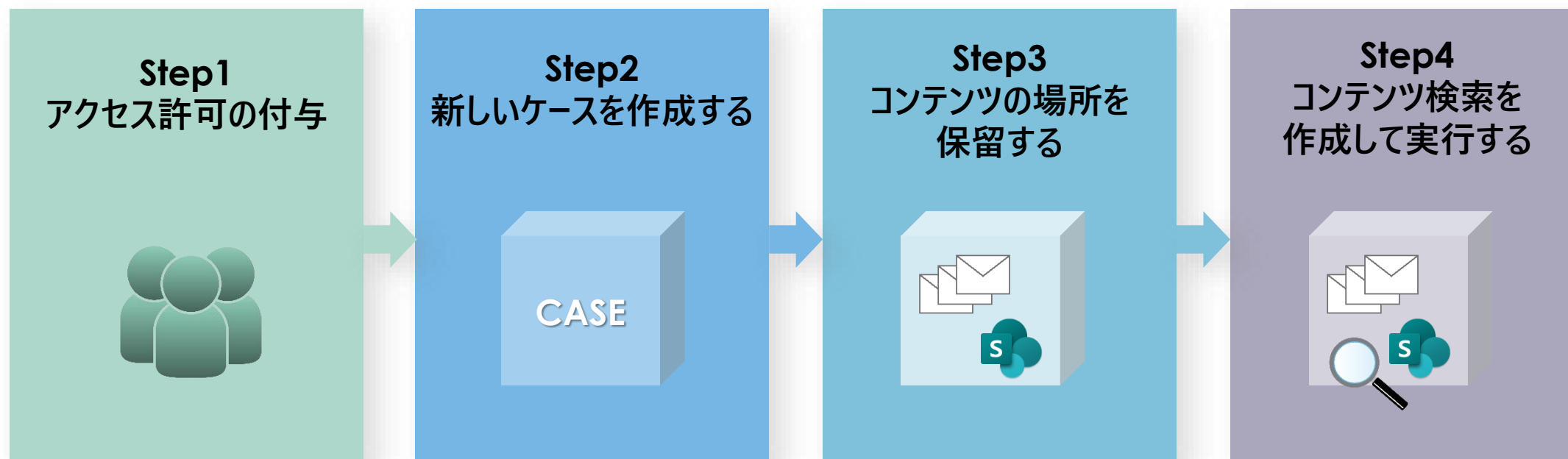
米国に拠点のある会社や米国企業と取引をする会社、ドル取引をする会社などが対象になるため、米国に拠点がなくても対象となります。



過去20年分もの情報開示を要求される場合もあります。

コアeDiscoveryの構成プロセス

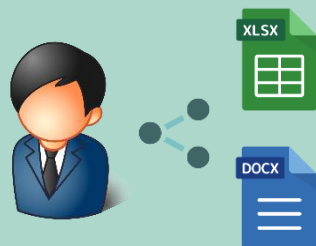
- コアeDiscoveryを使用すると、訴訟で証拠として使用する電子的情報を検索したり、保留したり
- することができます。コアeDiscoveryの構成手順は次の通りです。



Advanced eDiscoveryの特徴

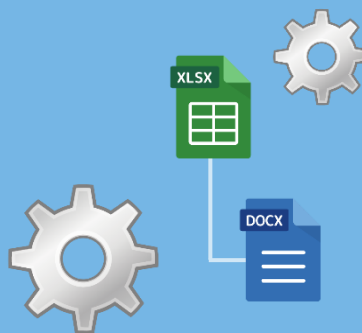
- 非構造化データのスマートな探索と分析により、関連データを迅速に特定します。

関連ドキュメントの特定と削減



一定量のMLへのインプットで関連するドキュメントと関連しないドキュメントを自動的に識別します。

データの関連性の特定



クラスタリング技術でコンテキスト内のドキュメントを確認し、関係性を把握します。

レビュー前にデータを編成、削減



準重複検出によってデータを編成し、非構造化データからメールスレッドを再構築、レビュー用に送信されるデータ量を削減します。
eDiscovery対応時等に弁護士費用を大幅削減できます。

Advanced Auditの特徴

- Microsoft 365のさまざまなサービスのさまざまな種類の監査済みアクティビティを可視化できます。
- 迅速かつ効果的なフォレンジックおよびコンプライアンス調査を強化することができます。

監査ログの長期保管



Exchange、SharePoint、および Azure Active Directoryの監査レコードが1年間保持されます。

データアクセスの高速化

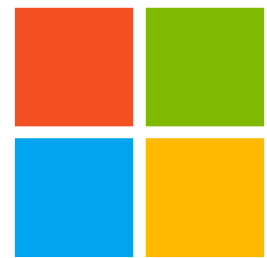


すべての組織には、最初に1分あたり2,000件の要求のベースラインが割り当てられます。この制限は、組織のシート数とライセンスサブスクリプションに応じて動的に増加します。E5組織は、E5以外の組織の約2倍の帯域幅を利用できます。

重要なイベントの監査



メールボックスアイテムへのアクセス監査アクションを新たにサポートしました。このアクションは、メールプロトコルとメールクライアントがメールデータにアクセスしたときにトリガーされます。



Microsoft